

国際ロータリー第2500地区第6分區

帯広東ロータリークラブ会報



Be A gift to the world

2015-2016年度
帯広東ロータリークラブ

会 長 上野 敏郎
幹 事 加藤 昭治
メディア委員長 西田 重人

「連：つらなる」

第1491回例会

平成27年10月13日(火) 於 ホテル日航ノースランド帯広

■創 立：1984年6月15日 ■認 証：1984年6月18日 ■例 会：毎週火曜日 12:30～13:30
■事務局：帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会 場：ホテル日航ノースランド帯広



2015-2016年度
国際ロータリーテーマ

【世界へのプレゼントになろう】

2015-2016年度国際ロータリー会長
K.R.ラビンドラン

ガバナーテーマ

【もっとロータリーを楽しみましょう】

国際ロータリー第2500地区 ガバナー
東 堂 明

◎起 立	板倉利男	S A A
◎友情の握手	板倉利男	S A A
◎点 鐘	上野敏郎	会 長
◎開 会 宣 言	板倉利男	S A A

ロータリーソング

奉仕の理想
◎会 食

葉足らずでありました。2500地区は、今までの「職業奉仕月間」には多くの会員の特別な思いがあることから、「準職業奉仕月間」ということで進んでおります。そういう意味で、今日、加藤雄樹委員長から職業奉仕のお話をお聞きするわけであります。

職業を通して地域に貢献していくということはなんぞや、また、この帯広東RCというグループの中で職業奉仕ということを通して、帯広・十勝の発展につながっていくということは、どういうことをしなければならないのか、どういう考え方をすべきなのかを我々は加藤委員長のお話をお聞きしながら考えてみたいと思います。

最後になりますが、ラビンドランRI会長は、これまでロータリアンの中で「物質的互惠行為」という考え方はダメなんだということを言ってきましたが、ラビンドラン会長はそれを否定しています。お互いに気持ちの通じ合うものが助け合っていく社会、こういうものがロータリークラブとしても堅持すべきだということだと思っておりますが、私はその考え方に賛成であります。

会長挨拶

上野敏郎 会長



先週の例会で福岡会員よりシベリア抑留体験をお話していただきました。お話を聞いて思い出したのですが、私の叔父もシベリア抑留組でありましたが、叔父さんからこういう話を聞く機会がなかったなと思いました。福岡会員のお話をお聞きしながら、まず

思ったことは戦争はやっちゃいかんということです。もう一つ思ったことは、異常な環境におかれた人間は、想像を絶するようなことをやってしまうものだなということ強く思いました。そういう意味に安倍政権の改造内閣にはよくよく考えて民の幸せが国の幸せにつながっていくということを強く政策に打ち出してもらいたいもんだなあ福岡会員の話を聞いて思った次第です。

さて、今月は「経済と地域の発展月間」であり、「米山月間」であることは前回の例会でお話させていただきました。通常は「職業奉仕月間」ということになるのですが、1月に延長したとのお話もしたところでありますが、言

会務報告

加藤昭治 幹事

◎帯広東RC夜間移動例会の開催

日時 10月20日(火)
午後6時30分
場所 幕別パークホテル悠湯館
送迎バス有り
(午後5時30分 パソコンランド駐車場)



◎新入会員を推薦されました齊藤蓮輝会員に認証品の贈呈

ニコニコ献金

親睦活動委員会 金丸 勝 委員

- 上野会長 結婚記念日のお祝いを頂き有難うございました。
- 益子副会長 寒くなりました、冬支度をそろそろと思っています。
- 加藤幹事 今年もニコニコにご協力よろしくお願い致します。
- 板倉会員 電業協会45周年・27回相互電業杯、無事終了しました。
- 大塚会員 先日(10日)上野会長宅にて本場の芋煮を



ちそうになりました。大変美味でした。

- 加藤(雄) 会員 本日卓話をさせていただきます。
- 加藤(肇) 会員 母校の100周年の式典に携わることが出来ました。一生に一度あるかないかのお祝いに感謝して。

出席報告

相澤和彦 出席プログラム委員長

- 9月29日(火) 第1489回例会
会員数 40名
計算に用いる会員数 33名
ホームクラブ出席者数 27名
メーキャップ者数 2名
出席率 87.9%
- 9月の出席率 79.3%



プログラム

加藤雄樹 職業奉仕委員長

【職業奉仕事業活動について】

職業奉仕は、事業および専門責務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を実践していくという目的を持つものであります。会員は、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うものです。



【ロータリーの行動規範】

- 1) すべての行動と活動において、高潔性という中核的価値観の模範を示すこと。
- 2) 職業の経験と才能をロータリーでの奉仕に生かすこと。
- 3) 高い倫理基準を奨励し、助長しながら、個人的活動および事業と専門職における活動のすべてを倫理的に行うこと。
- 4) 他社との取引のすべてにおいて公正に努め、同じ人間としての尊重の念をもって接すること。
- 5) 社会に役立つすべての仕事に対する認識と敬意の念を推進すること。
- 6) 若い人々に機会を開き、他社の特別なニーズに応え、地域社会の生活の質を高めるために、自らの職業的才能を捧げること。
- 7) ロータリーおよびロータリアンから託される信頼を大切に、ロータリーやロータリアンの評判を落としたり、不利になるようなことはしないこと。
- 8) 事業または専門職上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同輩ロータリアンに求めないこと。

次頁は昨年にロータリーの友に掲載されていた記事ですけれども、一橋大学大学院の田中一弘教授が渋沢栄一氏について講演されています。渋沢栄一氏については、1840年生まれで、徳川慶喜の幕臣でありました。明治維新の後、1869年に大隈重信に説得されて大蔵省に入省し、数多くの企業設立に携わった方の方です。

【渋沢栄一から読み解く21世紀の経営者精神】

渋沢栄一は、道徳と経済は本質的に一致すると言っています。道徳と経済とは紙の裏表、表裏一体だ、と言っています。紙の表には道徳、裏に経済と書いてあり、紙ですから透けて見えます。道徳の側から見れば経済が透けて見え、経済の側から見れば道徳が透けて見えます。このように表裏一体だというのが「道徳経済合一」です。

渋沢栄一の「道徳経済合一説」というのはどういうものなのでしょうか。「論語と算盤」と言われたり「土魂商才」と言われたり「義理両全」と言われたりします。一言で言えば「道徳と経済は本質的に一致する」ということです。

「道徳」には、消極的道徳と積極的道徳があります。消極的道徳は「為すべからずことをするな」ということです。コンプライアンスとか企業倫理といったものを連想させます。積極的道徳は「為すべきことをせよ」ということです。使命とか志とかに当たります。

「経済」という言葉にも二つの意味が渋沢の用語にはあって、一つは富とか利益、もう一つはそれを生み出す事業活動を指します。

こうした意味をとらえた上で、「道徳経済合一」なのですが、渋沢は「論語」を一番大事な愛読書にし、儒教を信奉していました。「道徳経済合一説」は、渋沢による独自の儒教解釈だと言われています。

普通は、道徳と経済は矛盾すると考えるのが常識です。その上で「矛盾はするが、その間に折り合いをつけて、バランスをとらなければいけない」と言われます。つまり、もうけようとあまり思いすぎると道徳が立たなくなるし、道徳・道徳と言っている、もうからなくなる。こちらの天秤とこちらの天秤に乗せ、お互いにバランスをとらましようということなのです。

しかし渋沢は、道徳と経済は、本質的に一致すると言っています。道徳と経済とは表裏一体だ、ということなのです。その表裏一体だという時に二つの見方があります。一つは道徳の側から経済を見ます。「道徳なくして経済なし」ということです。これを「道徳＝経済説」と、私は呼んでいます。もう一つは、「経済なくして道徳なし」です。こちらは「経済＝道徳説」です。この考え方に渋沢の独自のところがあり、これが最もロータリアンと通じるところではないかと思えます。

◎閉会宣言

板倉利男 S A A

◎点 鐘

上野敏郎 会長

次週プログラム

親睦活動委員会

10月20日(火) 「夜間移動例会」

幕別パークホテル悠湯館